

全国養護教諭
連絡協議会

会報

NO.61

平成22年9月 発行
全国養護教諭連絡協議会
代表者 堀田 美枝子
東京都港区芝公園 2-6-8
日本女子会館 5階
TEL.:03(3433)5767
FAX.:03(3433)5768

全国養護教諭連絡協議会ホームページアドレス <http://www.yougo.jp>

「子どもたち、一人ひとりのために」



全国養護教諭連絡協議会

副会長 高橋 由美子

会員の皆様には、日頃より、本会運営のために深いご理解とご支援・ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、平成21年4月の「学校保健安全法の施行」を受け、養護教諭は、学校保健活動の中核的存在として、関係する教職員や医療機関等の関係団体と連携することにより、多様化する児童生徒の心身の健康問題について対応していくことが求められています。昨年度は、それぞれの学校で試行錯誤の中、実践的取り組みが

なされたのではないのでしょうか。しかし、子どもたち一人ひとりの多様な健康課題を見極め、その解決を図るためには、私たちは養護教諭としての専門性を追究し、資質向上を図るとともに、コーディネーターとしてのマネジメント能力を高めていく必要があります。未来を担う子どもたちの心とからだを健やかに育てていくためには、基本を見据えて、一人ひとりが養護教諭としての資質を磨くことが大切になってきます。全養連では、研修会や研究協議会の開催、研究誌「瑠星」の発刊などを通して、養護教諭としての資質向上を図ることに努めていきたいと考えています。

ところで、平成22年3月2日、文部科学省3階会議室において「第2回 今後の学級編成及び教職員定数の改善に関する教育関係団体ヒアリング」が行われました。この日の参加団体は、全養連を含む教育関係の6団体でした。全養連では、数年来、要請要望してきた複数配置の定数改善を求めるとしての意見発表を堀田会長が行いました。このヒアリングの中で、全養連以外のすべての団体からも養護教諭の複数配置を望むという多数のご意見をいただきました。これは、様々な支援を求めている子どもたちへの対応はもとより、その保護者・教職員・そして、関係機関との連携を担っている養護教諭を複数配置することで、十分な教育的効果を期待できるという多くの教育関係者の考えであると感じました。これまでの各校における養護教諭の地道な実践があったからこそその各団体からの発言だったと思います。このヒアリングを受けて、児童生徒の学級編成に関する改善が図られてきています。養護教諭の複数配置に関しては、今後の動きを見守りたいと思います。

さて今年度の総会で、水戸俊子会長から堀田美枝子会長へと会長職の交代がありました。

堀田美枝子新会長のもと、役員一同気を引き締めてがんばっていきたくと思っています。会員の皆様には、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



平成22年度もがんばります

堀田美枝子会長を中心に、今年度も
役員一同力を合わせて頑張ります。
どうぞ、よろしくお願い申し上げます。
全国養護教諭連絡協議会 役員一同

お疲れさまでした！

水戸俊子前会長が、6月の総会をもって退任いたしました。1年間、大変お疲れ様でした。